

赤坂小学校緑育出前授業の報告書

記

1. 実施 港区立赤坂小学校の緑育出前授業
2. 場所 港区立赤坂小学校 ピロティ
3. 日時 令和4年10月18日(火) 6時間目 14:15~15:00
4. 参加者 4年生児82名 校長、副校長、先生2名
緑育出前授業実行委員会

5. 実施目的 協会事業の緑育出前授業として「緑は地球に大切なもの」として、協会のPR、緑の普及、将来の植木業界の向上を目指すこと等を目的とする。

6. 準備 6人1グループの児童に対して1つの体験キットで合計15セット用意
イチョウ苗木が8本 (赤坂小学校が小学校のシンボルツリーがイチョウの木のため)
ハナミズキ苗木が8本 (港区のシンボルツリーがハナミズキのため)
備品：台車、掃除道具、ビニール袋、エプロン等

7. 実施内容 代表委員が講師を務めて、まずは植木協会を紹介し講師3人の自己紹介をした。そして、児童主体の意見交換会(ディベート方式)を実施し、「植木は好きですか?」の質問に対して、児童たちが「植木が好き、どちらでもない、どちらかというと苦手」のグループに分かれてもらった。その人数割合が、「好きが5/1、どちらでもないが5/1、どちらかというと苦手5/3」となった。植木が苦手という児童は、虫が来るから、触るとチクチクするから、ゲームや他に興味があると言っていた。
その後、それぞれのグループの代表に意見を出し合ってもらった。多くの児童が手を挙げて元気よく意見をいい、正解論はないが、植木の在り方について意見交換をした。どちらでもないグループの児童が、「植木を必要でない人(苦手の人)は、必要な人(好きな人)に植木屋さんを仲介として渡せばいい」という意見が出たことに驚いた。時間が来てディベート方式は終了した。
次に6人グループに分かれてもらい、緑育体験キットを使用して作成した。代表の児童がキットと苗木を取りに来てもらい作成した。他の講師は各班を回りながら分からない事や質問があったら教えるというスタンスだった。1時間授業ということで短時間だったが、25分で作成して5分ほどおして終了した。
【感想】・児童が予想以上に意見を出してくれた。
 - ・キットのボックスを女子が「かわいい」と言ってくれたのが印象的だった。
 - ・イチョウの木が太くて立派だった。
 - ・植木が苦手という児童が多いことに驚いた。

8. 反省・改善点
 - ・実施場所がピロティだったため、車の音の反響で講師の声が聞こえにくかった。
⇒次回は体育館などで、今後も声を通る場所がよい。
 - ・終業後の掃除、水やりの時間が取れず、校長や用務員さんにしてもらってしまった。

⇒作成時間をもう少し長く取り、掃除まで児童がする時間配分をする。

- 全ての鉢を完成後並べたが、児童たちにグループ名等を記入しないと、どのグループがどの鉢が分からないと思った。

⇒次回はプレートを用意した方がいい。

- 土の量がキットによってまちまちだった。

⇒土の分量を量って袋に入れてもらうよう依頼する。

- 講師は名札を付けなかった。

⇒次回からひらがなで委員の名札（封筒宛名のシールで可）を付ける。

